



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2019 - 2020 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーは世界をつなぐ」

R.I. 会長 マーク・ダニエル・マローニ  
地区ガバナー 新本博司

クラブテーマ 「『温故知新』ロータリーを学びましょう。そして、美しいクラブ'浅草中央'の実現を!」  
クラブ会長 潮田幸一



2019年11月27日

第1600回例会

会長 潮田幸一  
幹事 土師幸士

## 本日の例会 (卓話)

1600回記念夜間例会

卓話者 日本プロゴルフ協会会長 倉本昌弘様

## 今後の例会 (卓話) 予定

12/4	会員卓話	田村順二会員 紹介者 伊石佳高会員
12/11	定款休会	
12/18	「出逢い・感謝 ボクシングのおかげで」	東京足立 RC 吉田和敏 様 紹介者 常見英彦会員
12/25	クリスマス家族会 (夜間)	



## 12月結婚記念日

3日 (51周年) 中村ご夫妻 ・ 10日 (30周年) 伊石ご夫妻

## 前回 (11/6 1598回例会) の記録

### 来訪者紹介

- ◆ゲスト 1名 明治大学監事 金子光男 様
- ◆ビジター 1名 東京浅草ロータリークラブ 坂真太郎 様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
52名	0名	10名	38名	11名	77.55%	10月23日は休会の為、修正はありません

## 会長挨拶 <潮田会長>

・本日の卓話は「縮み社会は甦るのか?」と題して、明治大学監事 金子光男先生にお願いし

ております。金子先生、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 幹事報告 <土師幹事>

①次週13日の例会はIMに振り替られ、次々週20日は祭日振替の休会となります。更に翌週の27日は1600回記念例会となり夜間例会となります。

②小石川RCより例会変更届が届いています。必要な方はクラブ事務所でご確認ください。

③本日例会終了後、クラブ事務所第5回理事・役員会を開催します。該当者はご参集ください。

## 委員会報告

### <地区大会実行委員会 藤掛委員>

・地区大会を推進するにあたり7つのグループを構成し、その下に16の委員会が組織されます。各委員会の委員長様を決めましたのでご案内させていただきます。

各委員会の委員長様方にお集まりいただき、地区大会成功に向けたキックオフの会を11月19日に開催し、地区大会に向けての活動をスタートさせます。皆様のご協力をお願い致します。

### <米山奨学カウンセラー 古谷委員>

・米山奨学生 フセイン君は来月の例会から

いろいろな席に座る様にさせます。又、第4例会に限らず時間の都合がつけば毎回出席してもよいと言ってあります。

### <親睦・出席委員会>

・ご出席お願い申し上げます。

①11月12日 18:30より

川松別館にて新入会員歓迎会

(和田会員・関根会員・桜井会員・佐藤会員)

②11月27日 18:30より

ビューホテル「飛翔の間」

1600回記念例会

## ニコニコボックス

### <潮田会長、土師幹事>

・金子光男様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

### <佐藤、上野、後上、浜中、内田、鵜原、宮崎、常見、山尾、植木、太田、渡辺>

・本日の卓話、明治大学監事 金子光男様「縮み社会は甦るのか？」よろしくお願ひいたします。

### <天笠、桜井、片岡、磯本、常見、山尾、植木、伊藤、原田、宮村、海内、古谷、園部>

・世界遺産“首里城”焼失。ウチナンチュウ頑張れ。沖縄地区大会も含めて、皆で沖縄を応援しよう。

### <上原>

・喪中につき新年のご挨拶をご遠慮申し上げます。義弟が1月に69歳で永眠いたしました。皆様に良い年が訪れますようにお祈りいたします。

### <大塚>

・伊石様、昨日は息子が大変お世話になりました。

### <潮田、立野>

・100%出席の表彰をして戴きまして誠に有難うございました。

### <丸岡>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

### <立野、土師、中村、植木、本間>

・お誕生日のお祝いをして戴き、有難うございました。



## 「縮み社会は甦るのか？」



明治大学監事 金子 光 男 様

紹介者 植木 榮 会員

現在のわが国出生率（1.42人）を前提に、また移民政策を取らないとして今後の人口数を推定すれば、2100年時点での国民は半減し5千万人ほどになると言う。これによって見るに、年々、生産力、需要は縮小せざるを得ない。

さらに、人口減少をカバーし、経済発展を支える技術革新の質の問題を見ると、AI、IT産業が重要である。これらはたしかに情報、通信分野を主としながら生産分野にも革新的な変革を呼び、生活改善とそれによる巨大な需要を惹き起こしていることは間違いない。しかし、それととも、19世紀から20世紀にかけての経済・社会の大革新にはとても及ぶべくもない。これがゴードンの結論である。

こうした主張は、水野和夫氏の所論によっても裏付けられるようだ。氏によれば、現在の金利ゼロの現象は利潤率のゼロを意味し、経済活動は単純再生産以上には出ないことの結果である。

これらを勘案すると、わが国社会の今後の趨勢は縮小していくのではないか。われわれが初めて直面するこうした局面に対し、ではいかなる生き方、生活があるのだろうか。